

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	766	担当課等	学校教育課								
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	(2) 小学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、児童を育てる教育環境を推進する。				
対象	地域のボランティア				
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		95,191	110,438	101,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等			20,000		
		人件費合計	0	0	20,000		
	総事業費		95,191	110,438	121,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		95,191	110,438	121,000		
	財源合計		95,191	110,438	121,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで児童・生徒の学校生活の向上につながる。
平成27年度までの改善点		特になし	

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	現状維持

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1145		担当課等		学校教育課						
事務事業名	児童用机・椅子・教卓等整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑩ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	児童用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、児童が・生徒が安全・安心して学習できる環境を整備する。				
対象	東台福浦小学校児童				
内容	児童用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		133,920	133,920	134,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		133,920	133,920	134,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		133,920	133,920	134,000		
	財源合計		133,920	133,920	134,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	児童が使用する机等の更新を図るため必要。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。

平成27年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	現状維持。将来的には児童数の推移を注視していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	385	担当課等	学校教育課								
事務事業名	図書整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	(2) 小学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	文部科学省が推進してきた学校図書館整備第4次5ヶ年計画が示されており、今後も引き続き学校図書館の充実を図る。				
対象	学校図書館				
内容	学校図書を購入し充実を図る。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		378,143	367,291	370,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		378,143	367,291	370,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		378,143	367,291	370,000		
	財源合計		378,143	367,291	370,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
図書購入数			図書館の充実	冊	189	235	250
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
平成27年度までの改善点	平成27年3月に図書館システムをリニューアルし、蔵書管理や貸出管理などPCにより可能となった。		

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	現状維持

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	児童の利用促進のため、常に蔵書の充実を図っていく必要がある。
---------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	384		担当課等		学校教育課						
事務事業名	教育振興教材備品購入事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑩ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	多様化する学習内容に対応していくため、教材備品の充実を図る。				
対象	東台福浦小学校児童				
内容	学習指導における教材備品の購入。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		387,792	433,134	450,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		387,792	433,134	450,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		387,792	433,134	450,000		
	財源合計		387,792	433,134	450,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	学校教育の充実を図るため学習内容に即した教材備品を購入するものため必要。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	学習内容に即した教材備品を調達することで学習効果の大幅な向上が期待できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	学習内容に即した教材備品を調達することで学習効果の大幅な向上が期待できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	学習の主体である児童に対し効果的な授業を提供することができる。

平成27年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	現状維持

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	毎年、学習内容に即した教材備品を整備し、学習効果の向上を図る。
---------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	395		担当課等		学校教育課						
事務事業名	給食設備整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑩ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	給食用食器を定期的に更新する。				
対象	東台福浦小学校児童				
内容	強化磁器製食器は、通常の使用でも割れやヒビが入ってしまうため購入する。				

2 実施結果

(単位 円)

区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
コスト	事業費	89,964	83,214		84,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		89,964	83,214		84,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		89,964	83,214		84,000	
	財源合計		89,964	83,214		84,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	通常使用により割れなどが発生するため給食用食器の定期補充をするもの。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	児童へ安全な給食を提供することができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	児童へ安全な給食を提供することができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	児童へ安全な給食を提供することができる。
平成27年度までの改善点		特になし	

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	現状維持

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	児童への安全な給食の提供のため、強化磁器製食器等の定期的な更新が必要である。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	386	担当課等	学校教育課								
事務事業名	各種教育振興事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P126 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	① 教育内容の充実
関連する個別計画					
目的	「教育基本方針」に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を持った児童・生徒の知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を図ります。				
対象	東台福浦小学校児童				
内容	教育研究発表事業、地域教育力活用事業、国際理解教育推進事業、卒業記念講演会開催事業、花いっぱい教育推進事業、総合的学習推進事業				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		228,712	219,477	222,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		228,712	219,477	222,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		228,712	219,477	222,000		
	財源合計		228,712	219,477	222,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	教育内容の充実を図るため、事業を実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	教育内容をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	教育内容をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	全児童を対象のため公平性を保っている。
平成27年度までの改善点	地域教育力活用事業では、知識や経験を有する地域の方々に華道指導や図書整備活動、あいさつ運動指導などの協力をいただいている。		

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	特になし

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	常に時代に合った内容の、講演、研修その他の事業を実施し、児童の豊かな心を育んでいく。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--